



# 六中だより

～自主・勤勉・共生～

11月号 No. 4  
令和3年11月4日発行  
港区立六本木中学校  
校長 石原 嘉人

## 繋ぐ



校長 石原 嘉人

令和3年10月23日(土)、2年ぶりとなる合唱発表会を開催することができました。実施するか、延期するかギリギリまで悩みましたが、新型コロナウイルスの神がかり的な減少も手伝い、この時期を逃しては実施できない可能性もあると考え、音楽科と相談して実施することにしました。

今回の合唱発表会のメインテーマは

「繋ぐ」です。新型コロナウイルス感染症によって分断されてしまった六本木中学校の行事を繋ぎ、先輩たちから代々受け継がれてきた伝統を繋ぐという意味をもっています。六本木中学校の合唱発表会を経験しているのは3年生のみ、その意味では、この行事の成功は3年生にかかっていたといっても過言ではありません。思うように練習できていない状況で9月が始まり、全員が揃って歌うということができない状況で練習しなければならなかったことは生徒にとっても、音楽科にとっても大変なことであったと思います。3年生は、「伝統を途切らせてはいけない」という気持ちをしっかりともち、この行事に取り組んでくれました。本当に素晴らしい合唱発表会であったと感じます。マスクを付けて歌っていることを感じさせない合唱を聞かせてくれた生徒たちには感謝しかありません。

また、午前と午後の2回公演を行ったことで、お子様の所属する学年だけではなく、保護者の方々にも生徒の合唱をお聞かせすることができました。例年であれば、保護者席は体育館の一番後ろとなってしまいますが、今年は保護者の方々のためだけに合唱を披露することができ、保護者の方々もアリーナ席で鑑賞することができました。コロナ禍だからこそできる方法で合唱発表会を実施できたのは、「ピンチをチャンスに」ということを常に考えている六本木中学校らしい方法であったと感じております。午前中の様子を撮影した動画の再生回数は軽く在籍数を超えています。たくさんの保護者の皆様に見ていただけたことを嬉しく思います。

さて、開会式でも少し話しましたが、本校の合唱発表会は「コンクール」ではなく、「コンサート形式」で行われています。開校以来変わらず、「競うことによって高めるのではなく、聞いている人に感動を与えるために、今できる最高の合唱を作り上げる」という精神で合唱を作り上げているのです。本校の教育目標に「自主」という項目がありますが、この合唱発表会は、まさに生徒の自主性によって成り立っている行事なのです。

やっぱり、行事というのはいいですね。生徒の成長した姿を見ることができし、何よりも感動を共有することができます。生徒・保護者・教職員で感動を共有することができた合唱発表会となりました。次は、期末テストを経ての百人一首大会となります。感染防止策を講じながら実施できるよう準備を進めてまいります。

## 生徒の感想から・・・

生徒たちもたくさんのことを感じたようです。生徒たちが書いた感想からいくつか紹介します。

### 【3組】

僕は、練習を通して満足したこと、良かったことがありました。放課後練習などで、交流クラスとの関係を深め、共に協力して取り組むことができたことです。友達ができたり、登下校中一緒になったりとか、話す機会が増えて良かったです。

### 【1年生】

練習の時は、心配と不安でいっぱいでした。でも、パートリーダーや実行委員、そして、その他の仲間がいたから毎日頑張ることができました。なので、仲間にたくさん感謝を伝えたいと思いました。本当に、今日は全校で合唱発表会を成功させることができ嬉しかったです。来年もこの仲間と共に頑張っていきたいと思います。

### 【2年生】

当日、1年生の頑張りや初々しさが感じられる歌声、伴奏者と指揮者が作る音色を聞いて凄いなと思ったのと同時に、負けたくない気持ちもありました。

次に、2年生の合唱で、代表曲の「時の旅人」を初め、2年生の全力と集大成を後輩の1年生、先輩の3年生、先生にも見せることができたと思います。

最後に3年生。3年間最後の合唱発表会で六本木中学校の最高学年としての力強さ、息のあった合唱で感動しました。10分休憩の時に、3年生全員が集まり、円陣を組んでいたのがカッコよかったです。

来年、私たちも3年生になり、先輩から・現3年生からの伝統を受け継がなければならないので、3年生を手本とし、日ごろの生活、そしてメリハリをつけ、クラス・学年全員で息を合わせ、後輩のあこがれとなる3年生になっていきたいです。

### 【3年生】

久しぶりの合唱発表会。とっても楽しかったです。3年生になって行事は減りまくって、すごい悔しいし、正直、何もない勉強だけの毎日ってこんなにもつまらないものなんだと思っていました。だか

ら、今日、こうやって例年の合唱発表会に近い形で開会できたことがとても嬉しいです。中学校の思い出のアルバムに1枚増えました。一生忘れない1枚です。

合唱は、全学年、本当に最高でした。でも、やっぱり、3年生が一番だ！

練習の風景を思い出すとこれまでどれだけひどかったか…ヘラヘラしている人はいるし、歌わない人もいます。「本当にこれを見せるの？無理でしょ」ってずっと思っていました。だけど、やっぱりみんなやればできる。「3年間一緒に過ごしてきたのがみんな良かったな」とも感じた瞬間でした。1曲目に指揮をしているとき、涙がこぼれそうで・・・必死に我慢しました。

自分を指揮者として認めてくれたみんなに感謝でいっぱいです。

## ミニ離任式

NTのステューブン先生が、急遽国に帰ることになったので、ミニ離任式を行いました。

いつも生徒の中にいてくださる先生で、気が付くと部活動に参加していたり、昼休みに生徒と一緒に遊んでくださったりしていたのがとても印象に残っています。

生徒たちは、自然な環境の中で英語に触れあうことができたのではないのでしょうか。5年間、本当にありがとうございました。

お別れのスピーチの中で、各学年に話しかけてくださったので、その言葉を紹介します。

### 【1年生へ】

Please study hard.

Please do your best.

### 【2年生へ】

Please keep your energy high.

### 【3年生へ】

Keep studying.

You can do anything.

とても平易な言葉ですが、重みがある言葉です。生徒の皆さん、しっかりと受け止めてください！！

